

世界連邦宣言

いまひとつの世界を

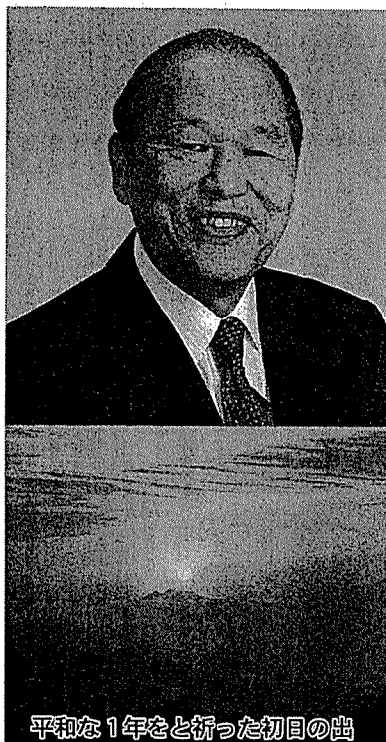
自治体協新聞

発行

世界連邦宣言自治体協
全国協議会
(事務局=綾部市)

〒623-8501綾部市若竹町8-1
TEL(0773)42-3280
FAX(0773)42-4406

「実心・実行」の年に 会長 四方八洲男



平和な1年をと祈った初目の出

新年明けまして、おめでとうございます。輝かしい新年を家族お揃いでお迎えになったこととお喜び申し上げます。

戦後60年の昨年は、世界連邦関係者にとって歴史に残る年となりました。

「核兵器等の廃絶、あらゆる戦争の回避、世界連邦実現への道の探究など持続可能な人類共生の未来を切り開く」8月2日の衆院本会議の決議の一部です。決議に世界

連邦の4文字が印されたことに大きな喜びを感じました。戦争に勝者はいないのです。核兵器をはじめ、すべての軍備をなくすためには、近未来に必ずや世界連邦の旗を掲げなければなりません。8月2日の国会決議は、その第1歩となりました。

そして迎えた今年は戊年。私は「実心・実行」という言葉を目標に掲げました。「すべての事柄に真心をも

つて臨む。戊年にふさわしく迅速に行動することで実行力を身につける」そんな1年にしていきたいと考えています。

地方分権がいよいよ動き出し、地方の自治体にとっては交付税の減額など、厳しい状

況が予想されます。

しかし、地方が切磋琢磨し競争を生き抜いていくという厳しいけれども、楽しみとやりがいのある面白い時代だともいえます。

昨年国会決議を礎とし、

世界連邦宣言自治体全国協議会に結集する各自治体の首長はじめ全職員、全議員の皆様のご奮闘を心からお願ひ申し上げます。今年もよろしくお願ひします。

中東和平—京都を舞台に

12月20日、小泉首相に要請書

京都府内の180人が結集

当協議会が支援を続けている中東和平プロジェクト。イスラエルとパレスチナの和平

の舞台を日本に、京都にという願いで「さらに進めよう、中

京都での和平会談を

最後に参加者らは、中東和平を府民レベルの活動に発展させることを確認しました。

東和平—京都府民の集い」が11月29日京都市上京区のルビノ京都堀川で開催されました。

コーエン大使が「和平と調和を目指す。平和が達成できることを信じ続ける」と述べたの続き、シム代表も「イスラエルとパレスチナが隣人として生きることは可能」と



中東和平会談の実現を小泉首相に要請した四方会長(左)首相官邸にて

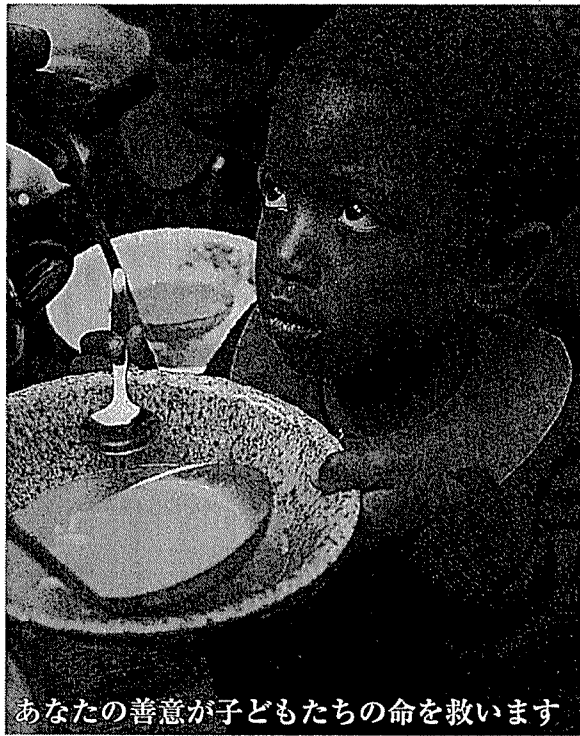
山田啓二・京都府知事や榎本頼兼・京都市長、四方八洲男会長らが呼び掛け人となり、国会議員、府内の首長や議員、宗教関係者など、約180人が参加。イスラエルのエリ・コーエン大使やパレスチナのワリード・シム代表、外務省伊藤信太郎大臣政務官も来賓として臨席。また、小泉首相から「双方が憎しみと対立の歴史から開放されることを願う」とのメッセージも届きました。

この後、四方会長が「日本は中東和平実現の最高の舞台。政府もその役割を担おうとしている。京都での和平会談を政府に働きかけよう」と提案。満場の拍手で賛同されました。

また、清水寺の森清範貫主が「和」と揮毫。賛同された提案と森貫主の書は、呼びかけ人の代表らが12月20日に官邸を訪ね、小泉首相に直接手渡しました。写真。

世界平和と難民救済

1000円募金にご協力を！



あなたの善意が子どもたちの命を救います

5年間で7000万円募る

世界連邦宣言自治体全国協議会は、世界連邦運動の一環として「世界平和と難民飢餓救済のための自治体職員1人1000円募金」を行います。全国の世界連邦宣言自治体をはじめ、募金の趣旨に賛同いただける自治体職員に広く協力を呼び掛けています。過去5年間の募金実績は、平成12年度が2227万円、平成13年度は1688万円、

平成14年度は1378万円、平成15年度は、募金の実施時期を変更したことが影響し、792万円に減少しましたが、昨年度は922万円に回復。5年間で7000万円もの善意が自治体職員の皆さんから寄せられています。

世界平和と難民救済へ

募金は、日本UNHCR協会とUNICEFに寄託。世界の難民の保護と援助、発展途上国の子どもと妊婦らの保

護衛生や教育などに役立てられています。

平成16年の募金から「世界平和の実現は中東和平から」を基本理念に、中東和平活動を

を支援。募金のうち500万円は事業を実施する自治体や実行委員会に補助させていただいています。皆さんのご支

日本が牽引力に！

世界連邦推進日本協議会
会長 植木 光教



平成18年の年頭に当たり、私はいま、深い感慨と激しい熱情に戦慄しています。

なる部署を定めるよう強力に要請。これに対して麻生太郎外務大臣から回答書が届きました。そこには、「世界連邦実現への道の探究」を担当する窓口は外務省総合外交政策局政策企画室が努める」と記されています。

世界連邦運動に参画して50年。昨年8月2日、衆議院本会議場において、「国際平和の構築への貢献を誓約する決議」が上程され、提出者の代表が演壇に立ち決議文を朗読。圧倒的多数で可決された時の議長の声は終生私の耳から離れることはありません。これを単に決議として終わらせないため、四方八洲男世界連邦宣言自体全国協議会会長をはじめとする関係5団体

の同志は、政府内部に窓口と参りましょう。

編集室から

世界連邦宣言を「誇り」に

世界連邦自治体協に加盟いただいています皆さん、明けましておめでとございます。今年もよろしくお祈いします。

昨年憲政の父といわれた尾崎行雄氏が世界連邦を提唱してから60年。悲願であった国会決議が8月2日、衆議院本会議において実現するという記念すべき年となりました。一方、国の三位一体の改革がいよいよ具体的に進められようとする中、地方自治体の行財政は依然厳しい状況が続くことが予想されます。

私たち自治体の共通点は、世界連邦宣言を行ったという歴史。それぞれの地域が優れた先人を有し、その志を脈々と継承し、発展させてきたという事実です。この歴史と事実を共通の「誇り」として、世界連邦の実現に向けて共にがんばりましょう。

協議会の活動へのご意見やご提案をお待ちしています。事務局までご連絡ください。